

令和 7 年度

中央橋橋梁修繕工事

設計書

見積設計書

工事番号 宍建工工第070302号

路線名等 (市) 高下3号線

工事箇所 宍粟市 山崎町 高下 地内



宍 粟 市

総括情報表

頁0-0001/0042

単価適用年月日	0-07. 10. 01 (0)		
	今 回	前 回	
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休 2 日補正	08 鋼橋架設 35 一般交通影響有り (2) - 2 02 補正なし 1.00 01 計上する 08 完全週休 2 日 (土日)		

工事費内訳書

頁0-0002/0042

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
橋梁保全工事						
橋梁補修工						
ひび割れ補修工						
低圧注入工法						
ひび割れ補修工（低圧注入工法）						
	1		構造物			施工 第0-0001号内訳表
断面修復工						
左官工法						
断面修復工（左官工法） ポ リマーセメントモルタル						
	1		構造物			施工 第0-0002号内訳表

工事費内訳書

頁0-0003/0042

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
Co殻運搬処分						
運搬・処分						
Co殻運搬						
	0.1	m3				施工 第0-0003号内訳表
処分費 コンクリート殻(無筋) ; 投棄量0. 1 m3						
	1	式				施工 第0-0007号内訳表
表面処理工						
表面処理工						
表面処理工 HI-SPECシール工CPタイプ うす塗り仕様 相当						
	101	m2				施工 第0-0008号内訳表
排水施設補修工						
排水管補修工						

工事費内訳書

頁0-0004/0042

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水管補修工 天板プレート一体型排水装置 相当品						
見積歩掛	1		式			施工 第0-0011号内訳表
目地材補修工						
目地材補修工						
目地材補修工 マジック MA30(特注品) 相当品						
見積歩掛	20		m			施工 第0-0012号内訳表
現場塗装工						
橋梁塗装工						
素地調整						
塗替塗装 [清掃・水洗い]						
	140		m2			施工 第0-0013号内訳表
塗膜剥離工 1回目						
	140		m2			施工 第0-0014号内訳表

工事費内訳書

頁0-0005/0042

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
回収・積込 1 回目						
	140	m2				施工 第0-0015号内訳表
塗膜剥離工 2 回目						
	140	m2				施工 第0-0016号内訳表
回収・積込 2 回目						
	140	m2				施工 第0-0017号内訳表
塗替塗装〔素地調整〕 3 種ケレンC（動力工具と手工具の併用）						
	140	m2				施工 第0-0018号内訳表
下塗						
塗替塗装〔下塗り〕 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料（ハケ・ローラー）1層						
	140	m2				施工 第0-0019号内訳表
塗替塗装〔下塗り〕 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料（ハケ・ローラー）2層						
	140	m2				施工 第0-0020号内訳表
中塗						
塗替塗装〔中塗り〕 弱溶剤形ふっ素樹脂〔濃彩〕						
	140	m2				施工 第0-0021号内訳表

工事費内訳書

頁0-0006/0042

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上塗						
塗替塗装 [上塗り] 弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]	140	m2				施工 第0-0022号内訳表
構造物撤去工						
運搬処理工						
塗膜片運搬						
運搬費 ; 運搬距離 1 6 1 km	1	台				施工 第0-0023号内訳表
塗膜片処分						
受入価格 (塗膜片) 127kg						
見積単価	1	式				1 処分費
仮設工						

工事費内訳書

頁0-0007/0042

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場工						
足場						
主体足場工						
	170	m2				施工 第0-0024号内訳表
朝顔工						
	170	m2				施工 第0-0025号内訳表
シート張防護工						
	170	m2				施工 第0-0026号内訳表
剥離剤工用養生シート工 1回目						
	170	m2				施工 第0-0027号内訳表
剥離剤工用養生シート工 2回目						
	170	m2				施工 第0-0028号内訳表
交通管理工						
交通誘導警備員						

工事費内訳書

頁0-0008/0042

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	交通誘導警備員 B						施工 第0-0029号内訳表
		10		人日			
直接工事費計							
共通仮設費計							
技術管理費							
				式			
	試験費 含有・溶出試験						施工 第0-0030号内訳表
		1		式			
	鉄筋探査 上向き 0.6m2						施工 第0-0031号内訳表
		1		式			
安全費							
				式			
	安全対策工						
		1		式			施工 第0-0032号内訳表
共通仮設費率分							
				式			

工事費内訳書

頁0-0009/0042

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費計							
現場管理費							
工事原価計				式			
一般管理費等							
工事価格計				式			
消費税相当額							
総 計				式			

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0010/0042

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

[規格1]		[規格2]	[摘要]		1	構造物	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役			人				
週休2日対象							1
特殊作業員			人				
週休2日対象							1
普通作業員			人				
週休2日対象							1
注入材			kg				
シーラ材			kg				
低圧注入器具			個				
諸雑費			%			#01	
単 位 当 り		1	構造物				
A 1 構造物当り補修延べ延長(m)		=7.4		1 構造物当り補修延べ延長(m)			
B ★★ 1 構造物当りの注入材使用量(kg)		=		★★ 1 構造物当りの注入材使用量(kg)			
C 1 構造物当りのシーラ材設計数量(kg)		=0.7		1 構造物当りのシーラ材設計数量(kg)			
D ★★ 1 構造物当りの低圧注入器具使用量(個)		=		★★ 1 構造物当りの低圧注入器具使用量(個)			
E ★★ 注入材の単価(円/kg)		=		★★ 注入材の単価(円/kg)			
F ★★ シーラ材の単価(円/kg)		=		★★ シーラ材の単価(円/kg)			
G ★★ 低圧注入器具の単価(円/個)		=		★★ 低圧注入器具の単価(円/個)			

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0011/0042

断面修復工（左官工法）

[規格1] ポリマーセメントモルタル

[規格2]

[摘要]

1

構造物 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					1
特殊作業員		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
断面修復材		m3			
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	構造物			
A 作業区分		=1	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理->有り		
B 1 構造物当りの延べ体積(m3)		=0.06	1 構造物当りの延べ体積(m3)		
C ★★断面修復材の単価(円/m3)		=	★★断面修復材の単価(円/m3)		

施工単価表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0012/0042

Co殻運搬

[規格1]		[規格2]		[摘要]		10	m3	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
人力運搬(運搬～取卸し)		10		m3			施工 第0-0004号内訳表	
積込(ルーズ) 土質→土砂		10		m3			施工 第0-0005号内訳表	
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし		10		m3			施工 第0-0006号内訳表	
合 計		10		m3				
単 位 当 り		1		m3				

人力運搬(運搬～取卸し)

[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0013/0042

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員 週休2日対象			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	換算距離	=1		20m以下					

積込(ルーズ)
[規格1] 土質→土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0014/0042

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(2014年)]				バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 0.8/0.6m3			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊) 週休2日対象			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	作業区分	=1		積込(ルーズ)					
	B	土質	=1		土砂					
	C	作業内容	=1		土量50,000m3未満					

殻運搬

[規格 1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0015/0042

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K									
	R1		運転手(一般)				運転手(一般) 週休2日対象			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	殻発生作業	=1		コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
	B	積込工法区分	=1		機械					
	C	DID区間の有無	=1		無し					
	D	運搬距離	=15		5.7km以下					

頁0-0016/0042

当り

18/78

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0017/0042

〔規格1〕HI-SPECシル工CPタイプ[®] うす塗り仕様 相当 〔規格2〕

[摘要]

10

m2	当り
----	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0018/0042

高浸透型床版防水工

[規格1] HI-SPECシール(CPタイプ) 相当品

[規格2]

[摘要] 見積歩掛

50

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			
週休2日対象					1
防水工	2	人			
週休2日対象					1
普通作業員	0.5	人			
週休2日対象					1
諸雑費	5	%			#01
HI-SPECシール(CPタイプ)	13.125	kg			見積
合 計	50	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0019/0042

表面保護工

[規格1] HI-SPECシーLT 相当品

[規格2] 2回塗り

[摘要] 見積歩掛

50

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			
週休2日対象					1
防水工	2	人			
週休2日対象					1
普通作業員	0.5	人			
週休2日対象					1
諸雑費	15	%			#01
HI-SPECシーLT	82.5	kg			見積
合 計	50	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0020/0042

排水管補修工

[規格1]天板プレート一体型排水装置 相当品

[規格2]

[摘要]見積歩掛

1

式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3	人			
週休2日対象					1
特殊作業員	4	人			
週休2日対象					1
普通作業員	5	人			
週休2日対象					1
諸雑費	5	%			#01
天板プレート一体型排水装置 SUS304Φ127 t=1.0mm 天板t=2.0mm 相当品 アンカー・シール材含む	12	基			見積
単 位 当 り	1	式			

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0021/0042

目 地 材 補 修 工					
[規格1] マジエイトMA30(特注品) 相当品		[規格2]		[摘要] 見積歩掛	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1	人			
週休2日対象					1
特殊作業員	2	人			
週休2日対象					1
普通作業員	2	人			
週休2日対象					1
ハンドカッター モータ式 フレート別 損料	1	台			見積 1
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 4.5/5kVA	1	日			(15) 欄 1
電動ブレーカー ピックアップ質量7.2kg 損料	1	台			見積 1
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t積級	1	日			(15) 欄 1
諸雑費	10	%			#01
高機能止水材 マジエイトMA30(特注品)相当品	10	m			見積 2
シール材 シリコン系 t=20mm	6.6	l			見積 2
諸雑費	5	%			#02
合 計	10	m			

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0022/0042

目地材補修工

[規格1] シェットMA30(特注品) 相当品

[規格2]

[摘要] 見積歩掛

10

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単 位 当 り	1	m			

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0023/0042

〔規格 1〕

[規格 2]

[摘要]

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0024/0042

塗膜剥離工

[規格1] 1回目

[規格2]

[摘要]

10

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜除去工	10	m2			土木コスト情報1誌の単価*1.02(週休2日補正)
塗膜剥離剤 環境対応型塗膜剥離剤 リペアソルブ [®] S相当品	7.5	kg			建設物価・積算資料2誌の平均単価
合 計	10	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0025/0042

〔規格 1〕 1 回目

[規格 2]

[摘要]

10

当り

[illegible]

頁0-0026/0042

当り

28/78

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0027/0042

[規格 1] 2 回目

[規格 2]

[摘要]

10

当り

回收・積込

10

m2

土木コスト情報1誌の単価*1.02(週休2日補正)

合 計

10

m2

単位当り

1

m2

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0028/0042

〔規格1〕3種ケレンC（動力工具と手工具の併用） 〔規格2〕

[摘要]

当り

[illegible]

施工 第0-0019号内訳表

頁0-0029/0042

〔規格1〕弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハ・ローラー)1層 〔規格2〕

[摘要]

当り

31/78

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0030/0042

〔規格1〕弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハ・ローラー)2層 〔規格2〕

[摘要]

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0031/0042

〔規格 1〕弱溶剤形ふっ素樹脂〔濃彩〕

[規格 2]

[摘要]

当り

[illegible]

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0032/0042

〔規格 1〕弱溶剤形ふっ素樹脂〔濃彩〕

[規格 2]

[摘要]

当り

[illegible]

施工 第0-0023号内訳表

頁0-0033/0042

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

台

当り

運搬費

施工単価表

施工 第0-0024号内訳表

頁0-0034/0042

主体足場工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N 1	
週休2日対象								
橋りょう特殊工				人			撤去：N 2	
週休2日対象								
足場賃料		1.00		m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 足場の種類			=1		パイプ吊足場			
B 桁形式			=1		プレートガーダー・ボックスガーダー			
C 工種と区分			=3		単独使用（塗装工事）			
F 塗装用足場の供用月数（x 3）			=1		塗装用足場の供用月数（x 3）			

施工単価表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0035/0042

朝顔工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人				
週休2日対象							設置：N 1	
橋りょう特殊工				人				
週休2日対象							撤去：N 2	
足場賃料		1.00		m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 桁形式				=1	プレートガーダ・ボックスガーダ			
B 工種と区分				=1	単独使用（床版工事）			
C 床版用足場の供用月数（x 2）				=1	床版用足場の供用月数（x 2）			
D 朝顔の区分				=1	両側朝顔			

頁0-0036/0042

当り

38/78

施工単価表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0037/0042

剥離剤工用養生シート工

[規格1]1回目

[規格2]

[摘要]

1

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工		人			設置：N1
週休2日対象					
橋りょう特殊工		人			撤去：N2
週休2日対象					
シート張防護材質料		m2			
単 位 当 り	1	m2			
A 朝顔の区分種類		=1	両側朝顔		
B 供用月数(月)		=1	供用月数(月)		

施工単価表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0038/0042

剥離剤工用養生シート工

[規格1]2回目

[規格2]

[摘要]

1

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工		人			設置：N1
週休2日対象 橋りょう特殊工		人			撤去：N2
週休2日対象 シート張防護材賃料		m2			
単 位 当 り	1	m2			
A 朝顔の区分種類 B 供用月数(月)		=1 =1	両側朝顔 供用月数(月)		

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0039/0042

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

人日 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0030号内訳表

頁0-0040/0042

試験費

[規格1]含有・溶出試験

[規格2]

[摘要]

1

式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
含有試験 鉛	1	検体			建設物価・積算資料2誌の平均単価
含有試験 クロム	1	検体			建設物価・積算資料2誌の平均単価
含有試験 PCB	1	検体			建設物価・積算資料2誌の平均単価
溶出試験 鉛	1	検体			
溶出試験 6価クロム	1	検体			
溶出試験 PCB	1	検体			
単 位 当 り	1	式			

施工単価表

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0041/0042

鉄筋探査

[規格1]上向き

[規格2]0.6m2

[摘要]

1

式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師(A) (大学卒13年以上)	0.5	人			労務費に対する週休2日補正1.02を乗じる 1
技師(B) (大学卒8年以上)	1	人			労務費に対する週休2日補正1.02を乗じる 1
技師(C) (大学卒5年以上)	1	人			労務費に対する週休2日補正1.02を乗じる 1
諸雑費	5	%			#01
単 位 当 り	1	式			

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0042/0042

[illegible]

積算参考資料

本工事の積算で設定した見積単価及び特別調査単価を以下に示す。
なお、物価資料を根拠とする単価については、引用元を示す。

注) 本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

名称	規格等	単位	採用単価等 (円)	備考
ハンドカッター	モータ式 ブレード別 損料	台	1,900	
電動ブレーカー	ビックハンマ質量7.2kg 損料	台	500	
高機能止水材	マジエイトMA30(特注品)相当品	m	21,500	
シール材	シリコン系 t=20mm	l	7,660	
天板プレート一体型排水装置	SUS304 Φ127 t=1.0mm 天板 t=2.0mm アンカー・シール材含む	基	62,340	
HI-SPECシール(CPタイプ)		kg	5,400	
HI-SPECシールT		kg	1,600	
受入価格(塗膜片)	塗膜片処分費	式	68,580	
名称	規格等	単位	採用元	備考
注入材	エポキシ樹脂系 DDグライト50相当品	kg	積算資料1誌 の単価	
シール材	不飽和ポリエステル系 BLシール相当品	kg	積算資料1誌 の単価	
低圧注入器具	補充可能型注入器具 BLインジェクター相当品	個	積算資料1誌 の単価	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 中央橋橋梁修繕工事		事業区分	鋼橋架設	
			工種区分	道路維持修繕	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式	数 量	単 位	摘 要
本工事					
橋梁保全工事					
橋梁補修工					
ひび割れ補修工					
低圧注入工法					
ひび割れ補修工（低圧注入工法）		= 1.0	1	構造物	
断面修復工					
左官工法					
断面修復工（左官工法）	ホ°リマーセメントモルタル	= 1.0	1	構造物	
Co殻運搬処分					
運搬・処分					
Co殻運搬		= 0.1	0.1	m3	
処分費	コンクリート殻（無筋） ； 投棄量 0.1 m3	= 1.0	1	式	
表面処理工					
表面処理工					
表面処理工	HI-SPECシール工CP947°うす塗り仕様 相当	= 101.7	101	m2	
排水施設補修工					
排水管補修工					
排水管補修工	天板プレート一体型排水装置 相当品	= 1.0	1	式	
目地材補修工					
目地材補修工					

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 中央橋橋梁修繕工事			事業区分	鋼橋架設	
				工種区分	道路維持修繕	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 名 称	規 格	算 規 格 式		数 量	単 位	摘 要
目地材補修工	ゾリエド MA30 (特注品) 相当品					
		=	20.2	20	m	
現場塗装工						
橋梁塗装工						
素地調整						
塗替塗装 [清掃・水洗い]		=	141.3	140	m2	
塗膜剥離工	1 回目	=	141.3	140	m2	
回収・積込	1 回目	=	141.3	140	m2	
塗膜剥離工	2 回目	=	141.3	140	m2	
回収・積込	2 回目	=	141.3	140	m2	
塗替塗装 [素地調整]	3 種ケレンC (動力工具と手工具の併用)	=	141.3	140	m2	
下塗						
塗替塗装 [下塗り]	弱溶剤形変性珪 矽樹脂塗料 (ハケ・ローラー) 1層	=	141.3	140	m2	
塗替塗装 [下塗り]	弱溶剤形変性珪 矽樹脂塗料 (ハケ・ローラー) 2層	=	141.3	140	m2	
中塗						
塗替塗装 [中塗り]	弱溶剤形ふっ素樹脂 [濃彩]	=	141.3	140	m2	
上塗						
塗替塗装 [上塗り]	弱溶剤形ふっ素樹脂 [濃彩]	=	141.3	140	m2	
構造物撤去工						
運搬処理工						
塗膜片運搬						
運搬費	； 運搬距離 1 6 1 km	=	1.0	1	台	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 中央橋橋梁修繕工事			事業区分	鋼橋架設	
				工種区分	道路維持修繕	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
塗膜片処分						
	受入価格（塗膜片）	127kg				
		= 1.0		1	式	
仮設工						
足場工						
足場						
	主体足場工	= 173.1		170	m2	
	朝顔工	= 173.1		170	m2	
	シート張防護工	= 173.1		170	m2	
	剥離剤工用養生シート工	1回目				
		= 173.1		170	m2	
	剥離剤工用養生シート工	2回目				
		= 173.1		170	m2	
交通管理工						
交通誘導警備員						
	交通誘導警備員 B	= 10.0		10	人日	
技術管理費						
	試験費	含有・溶出試験				
		= 1.0		1	式	
	鉄筋探査	上向き				
	0.6m2	= 1.0		1	式	
安全費						
	安全対策工	= 1.0		1	式	

種別及び細別： ひびわれ注入工

項 目	規 格	算 式	単 位	数 量
ひびわれ長さ			m	7.350
				≒ 7.4
注入材	重量	深さはひびわれ幅×200倍、注入材吸率を0.2とする。 0.00009 × 1150 kg/m ³ × 1.2	kg	0.122
				≒ 0.1
シーラ材	面積	幅30mm, 厚さ2mmとする。 0.030 × 7.350	m ²	0.221
	重量	0.221 × 0.002 × 1600 kg/m ³	kg	0.707
				≒ 0.7
注入器具		30cmピッチとする。 7.350 ÷ 0.3	本	25

深さはひびわれ幅×200倍とする

	番号	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	体積(m ³)
A1-P1	1	0.20	900	40	0.000007
	2	0.20	600	40	0.000005
	3	0.20	1500	40	0.000012
	4	0.20	1500	40	0.000012
	小 計		4500		0.000036

	番号	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	体積(m ³)
P1-P2	1	0.20	1450	40	0.000012
	2	0.20	400	40	0.000003
	小 計		1850		0.000015

	番号	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	体積(m ³)
P2-A2	1	0.50	700	100	0.000035
	2	0.20	300	40	0.000002
	小 計		1000		0.000037

合 計	7350		0.00009
-----	------	--	---------

種別及び細別： 断面修復工

項 目	規 格	算 式	単 位	数 量
ケレン有り				
修復面積		0.584	m ²	0.584
下地処理	チッピング	0.584	m ²	0.584
修 復 材	ポリマーセメント モルタル	0.0292	m ³	0.0292
殻運搬・処分	無筋Co殻	0.0292	m ³	0.0292
ケレン無し				
修復面積		0.353	m ²	0.353
下地処理	チッピング	0.353	m ²	0.353
修 復 材	ポリマーセメント モルタル	0.0303	m ³	0.0303
殻運搬・処分	無筋Co殻	0.0303	m ³	0.0303
断面修復工 体積合計		0.0292 + 0.0303	m ³	0.0595 ≒ 0.06
殻運搬・処分合計	無筋Co殻	0.0292 + 0.0303	m ³	0.0595 ≒ 0.1

種別及び細別： 断面修復工

算 式 根 拠

【数量内訳】

ケレン有り 修復材

A1-P1

【鉄筋露出】

番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
1	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
2	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
3	100 × 150 × 50	0.0150	0.00075
4	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
5	150 × 100 × 50	0.0150	0.00075
6	50 × 10 × 50	0.0005	0.00003
7	100 × 100 × 50	0.0100	0.00050
8	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
小 計		0.0505	0.00255

P1-P2

番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
1	300 × 150 × 50	0.0450	0.00225
2	600 × 450 × 50	0.2700	0.01350
3	50 × 150 × 50	0.0075	0.00038
4	150 × 100 × 50	0.0150	0.00075
5	150 × 30 × 50	0.0045	0.00023
6	100 × 50 × 50	0.0050	0.00025
7	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
8	50 × 100 × 50	0.0050	0.00025
9	150 × 150 × 50	0.0225	0.00113
10	50 × 200 × 50	0.0100	0.00050
11	100 × 100 × 50	0.0100	0.00050
小 計		0.3970	0.01987

P2-A2

番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
1	10 × 100 × 50	0.0010	0.00005
2	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
3	50 × 100 × 50	0.0050	0.00025
4	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
5	100 × 50 × 50	0.0050	0.00025
6	300 × 300 × 50	0.0900	0.00450
7	200 × 150 × 50	0.0300	0.00150
小 計		0.1360	0.00681

合 計

0.5835

0.02923

種別及び細別： 断面修復工

ケレン無し 修復材

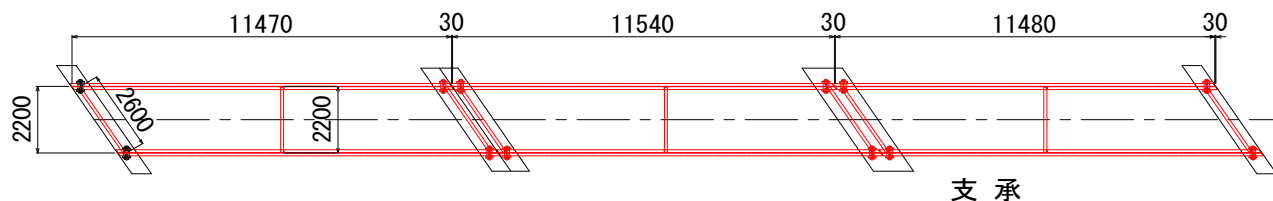
A1-P1	【剥離】 【うき】			
	番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
	1	150 × 500 × 20	0.0750	0.00150
	2	100 × 150 × 20	0.0150	0.00030
P1-P2	小 計		0.0900	0.00180
	番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
	1	150 × 150 × 20	0.0225	0.00045
	2	200 × 600 × 100	0.1200	0.01200
P2-A2	小 計		0.1425	0.01245
	番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
	1	200 × 200 × 100	0.0400	0.00400
	2	400 × 200 × 150	0.0800	0.01200
小 計			0.1200	0.01600
合 計			0.3525	0.03025

種別及び細別： 塗替塗装工

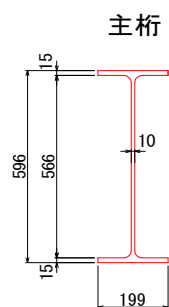
算 出 図

中央橋

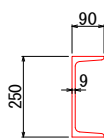
平面図



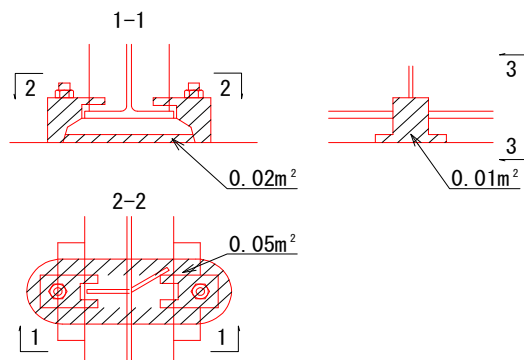
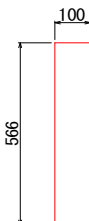
支 承



横桁



補剛材

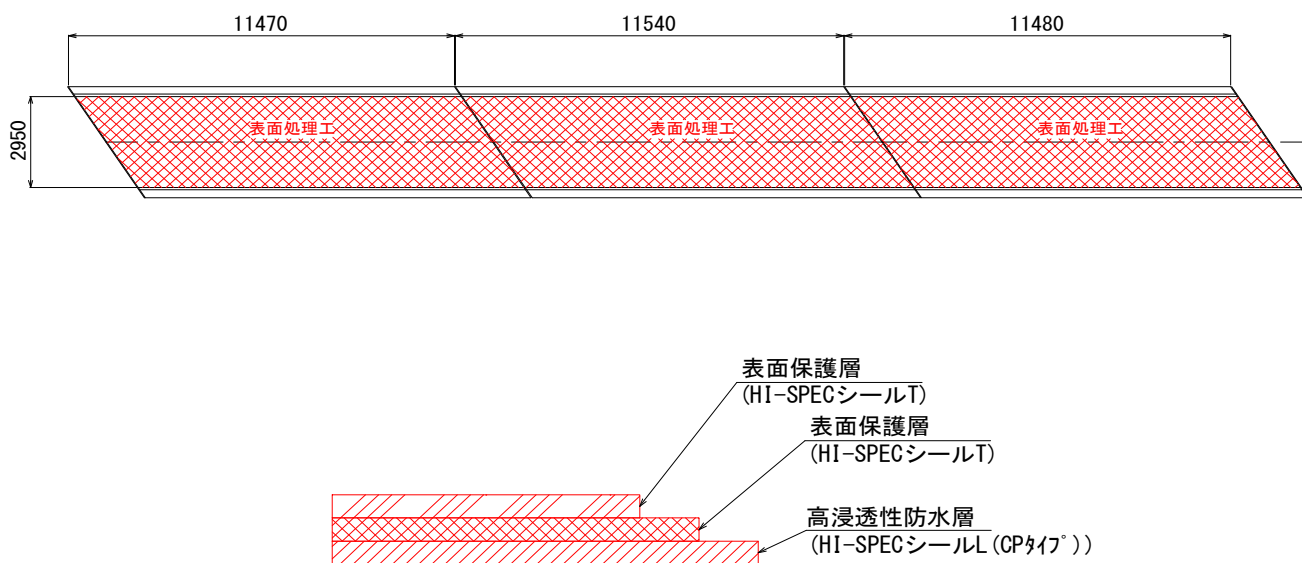


$$A=0.05+0.02 \times 2+0.01 \times 2=0.11\text{m}^2$$

項 目	規 格	算 式	単 位	数 量
主桁	フランジ	$0.1990 \times 11.470 \text{ m} \times 1 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	4.565
		$0.1990 \times 11.540 \text{ m} \times 1 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	4.593
		$0.1990 \times 11.480 \text{ m} \times 1 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	4.569
		$0.1890 \times 11.470 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	8.671
		$0.1890 \times 11.540 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	8.724
		$0.1890 \times 11.480 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	8.679
	ウェブ	$0.5660 \times 11.470 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	25.968
		$0.5660 \times 11.540 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	26.127
		$0.5660 \times 11.480 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 2 \text{ 本}$	m^2	25.991
横桁	端横桁	$0.0900 \times 2.600 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 6 \text{ 本}$	m^2	2.808
		$0.0810 \times 2.600 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 6 \text{ 本}$	m^2	2.527
		$0.2500 \times 2.600 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 6 \text{ 本}$	m^2	7.800
	中間横桁	$0.0900 \times 2.200 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 3 \text{ 本}$	m^2	1.188
		$0.0810 \times 2.200 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 3 \text{ 本}$	m^2	1.069
		$0.2500 \times 2.200 \text{ m} \times 2 \text{ 面} \times 3 \text{ 本}$	m^2	3.300
補剛材		$0.1000 \times 0.566 \times 2 \text{ 面} \times 10 \text{ ヶ/1径間} \times 3 \text{ 径間}$	m^2	3.396
支承		$0.1100 \times 12 \text{ 支承}$	m^2	1.320
			合計	141.295
塗膜運搬・処分	塗膜重量	$141.295 \times 0.900 \text{ kg/m}^2$ (実績値より)	kg	127

種別及び細別： 表面処理工

算 出 図



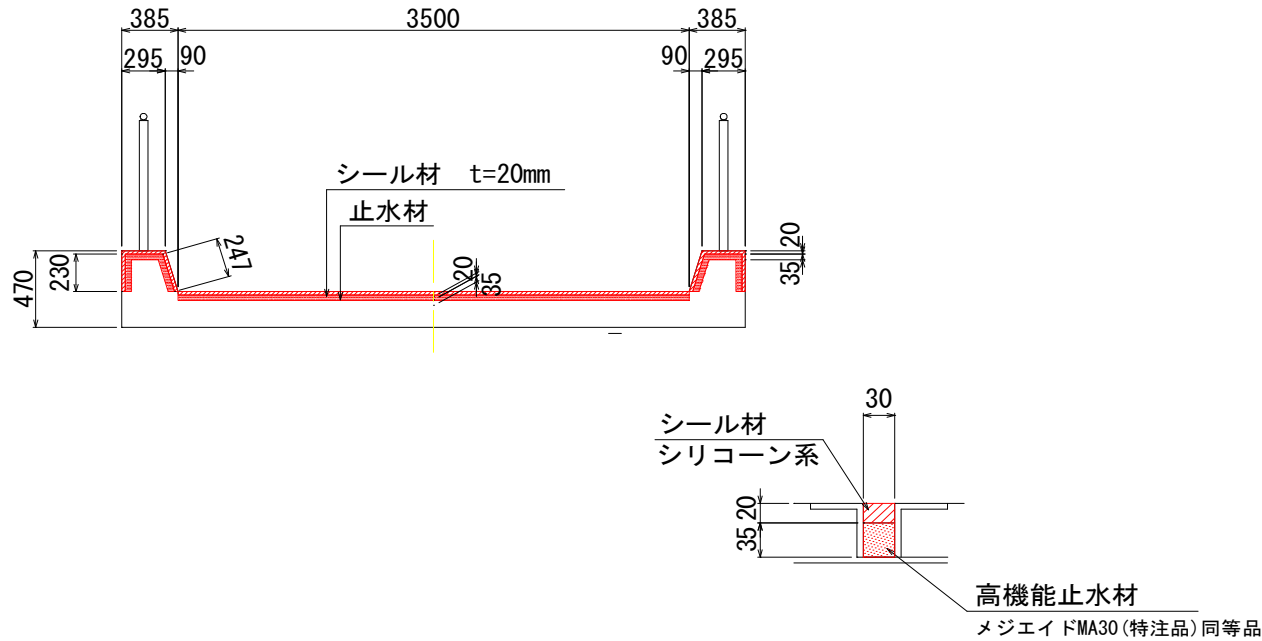
項 目	規 格	算 式	単 位	数 量
舗装面積		2.950 × 11.470	m ²	33.837
		2.950 × 11.540	m ²	34.043
		2.950 × 11.480	m ²	33.866
		合 計	m ²	101.746
高浸透系防水層			m ²	101.746
表面保護層	2 層		m ²	101.746

種別及び細別： 排水管補修工

算 出 図					
項 目	規 格	算 式		単位	数 量
排水管	ステンレス排水管L=1.0m			箇所	12
鉄筋探査	上向き	0.225	× 0.225 × 12	m ²	0.61

種別及び細別： 目地材補修工

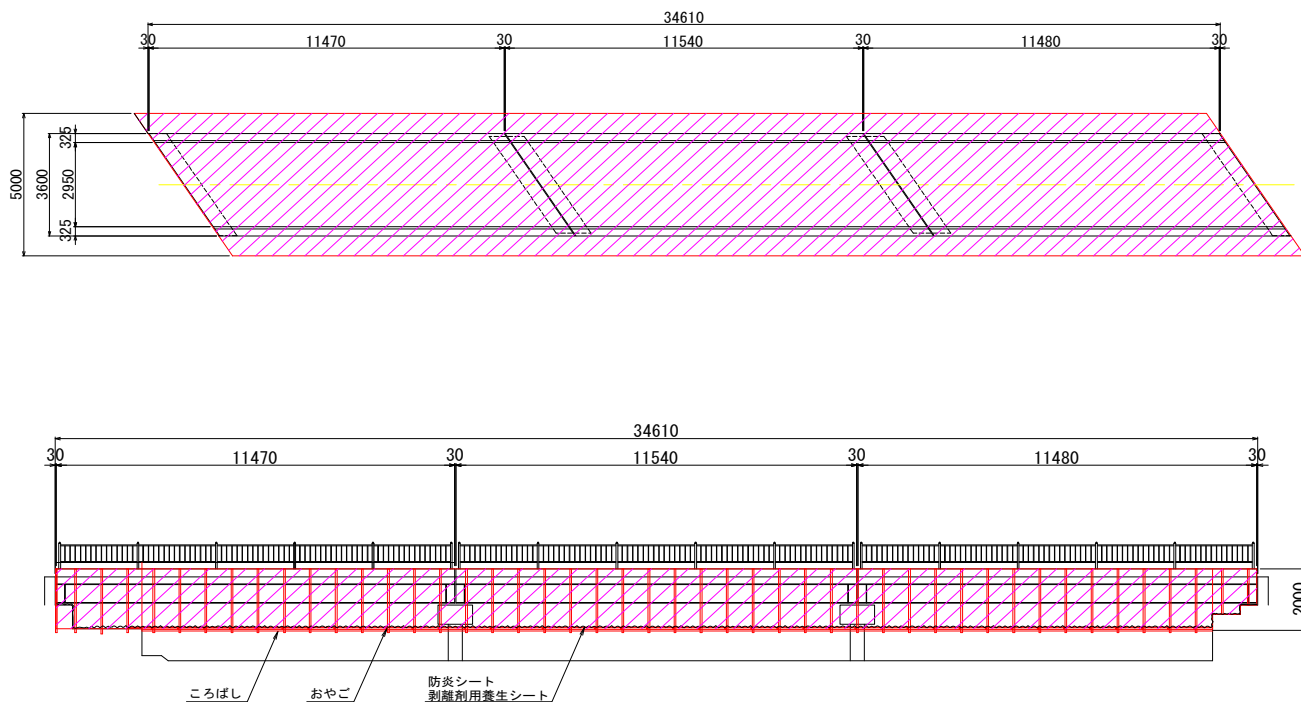
算 出 図



項 目	規 格	算 式	単 位	数 量
延長		(3.500 + (0.230 + 0.295 + 0.247) × 2箇所) × 4箇所	m	20.176
シーリング材	シリコン系 t=20mm		m	20.176
高機能止水材	合成ゴム発泡体		m	20.176

種別及び細別：仮設工

算 出 図



項 目	規 格	算 式	単 位	数 量
仮設工	吊り足場	幅 長さ 5.000 × 34.610	m ²	173.050
	防護工面積	高さ 長さ 箇所 2.000 × 34.610 × 2	m ²	138.440
	側面			
	底面	幅 長さ 5.000 × 34.610	m ²	173.050
		合 計	m ²	311.490

特記仕様書

工 事 名 中央橋橋梁補修工事

工事場所 宍粟市山崎町高下地内

工 期 令和8年3月25日限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

土木工事共通仕様書（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）
土木請負工事必携（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）
土木工事施工管理基準（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）
小型構造物標準図集（兵庫県土木部）〔平成25年10月〕（最新改訂版）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に自治会長等の関係者に挨拶(報告)すること。
2. （工事用地区域外への対応）
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事用地以外の区域へ立入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。（民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。）

第4条 環境対策

1. （排出ガス対策型建設機械）
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. （公害対策）
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第5条 工事中の安全確保

1. （工法変更等への対応）
構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2. (掘削部の安全施工)
土石崩落等危険と判断される時及び床堀法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。
3. (安全・訓練等の実施)
安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第6条 交通安全管理

1. (道路使用願等)
工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。
2. (安全施設類)
標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
3. (交通誘導員の有資格)
 - ① 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号)等に基づき、交通誘導警備検定合格者(1級又は2級)を規制箇所毎に1名以上配置することとする。
 - ② 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。
4. (交通誘導員の配置)
交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配 置 場 所	交通誘導員	編 成	昼夜別	交替要員の有無
施工箇所の起終点	2名/日	交通誘導員B	昼間	無

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

5. (過積載による違法運行の防止について)
過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。
 - ① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。
 - ② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。
 - ③ 不正改造運搬車(さし枠装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第7条 建設廃材等の処分

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める廃棄物は、同法に準拠した適切な方法により処分すること。
2. 産業廃棄物の処分に当たっては、同法の許可を持った産業廃棄物処理業者において処分すること。
3. 特定建設資材廃棄物を処分する場合(特定建設資材の分別解体等・再資源化等)
特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の①と②の積算条件を設定している。

① 分別解体等の方法

工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
②土工	土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

上記①の「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
コンクリート塊 (無筋)	(株)カキ	5.7 km	宍粟市山崎町 千本屋字女薮 291-1 他2筆	兵庫県土木部の「建設 副産物の処理ならびに 受入価格」に掲載され る当該施設の受入条件 を遵守すること	監督員の指 示による

上表②については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

4. 建設廃棄物（特定建設資材廃棄物以外を処分する場合）

特定建設資材廃棄物以外の処分先は、積算条件として、以下を設定している。

建設廃棄物	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
塗膜片	ツネイシカム テックス(株)	161 km	広島県福山市 箕沖町 107-5	当該施設の受入条件を 遵守すること。 福山市には、廃棄物を 県外から搬入する場合 事前協議が必要となる ため留意すること。	監督員の指 示による。

上表については、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設もしくは産業廃棄物処分場としての許可を有する施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設の抹消などにより受入困難となった場合や、受注者が選定した施設が県登録施設または上表の施設以外の施設で、処理費が当初設計より安価となる場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

5. 建設リサイクル法等に基づく手続き

受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県 HP に掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用すること。

6. マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト票）を使用し、受注者の責において5年間保存すること。

産業廃棄物管理票（マニフェスト票）D・E票及び計量伝票を検査時に提示し、様式 25 の産業廃棄物管理票交付状況総括表は提出することとする。（設計計上量を最大値として、上記検収数量を算出数量として、変更の対象とする。）

7. 受注者が直接（法律に基づく許可地でない土地）処分地に投棄した処分量は、投棄量算出量としない。
8. 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結する。また、運搬及び処分を業とする許可書を、委託契約の写し及び処理業者の所在地と運搬ルートとともに施工計画書に添付すること。
9. 受注者は建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡し完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例」（平成 15 年 3 月 17 日兵庫県条例第 23 号）第 16 条の 3 に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。（工作物等解体工事は請負代金 500 万円以上、建築物解体工事は延床面積 80 m²以上）

第8条 週休2日確保工事について

1. 本工事は、原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板（看板④）に明記すること。（受注者は契約後、施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
2. 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。
3. 現場稼働中の工期〔工事着手（現場測量等）前、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）を達成した場合に工事成績の評価を行う。
明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、「法令遵守等」で減点措置を行う。
4. 現場閉所の確認のため、受注者は工事履行報告書を提出すること。
5. 労務費等の補正については、当初予定価格に完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を各経費に乘じている。なお、現場閉所の達成状況が完全週休2日（土日）に満たないものは、月単位の週休2日の補正係数に変更し、請負代金額を減額変更する。
月単位の週休2日交替制に満たないものは、完全週休2日交替制の補正係数を除し、請負代金額を減額変更する。
6. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを制限しない。但し、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。
7. 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交替制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上、変更することができる。ただし、工事着手後の変更は認めない。

＜労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正＞
一般公共（港湾工事4工種除く）の場合

	補正係数	
	土日現場閉所	
	完全週休2日	月単位
労務費	1.02	1.02
共通仮設費率	1.02	1.01
現場管理費率	1.03	1.02

第9条 特定外来生物の駆除について

1. 工事着手前に工事区域内において、以下に示す特定外来生物が生育していないか現地踏査を行い、特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。なお、下記に記載の特定外来生物の生育が確認された場合は、別途、施工計画書にその処分、運搬方法等について記載すること。

・特定外来生物の種類：

アルゼンチン・フィロセロデス(カエツルゲイトウ)、ヒステリア・ストリクトス(ホトウシサ)、アゾル・クリスタ、コロプシス・ラングスタ(オキネイ)、ギムノコリス・スピラントデス(ミズヒマワリ)、ルトベギア・チエタ(オハコソウ)、セネオ・マダガスカルエンシス(ナルサギ)、スキュオス・アンガラウス(アチウリ)、ミリオホルム・アクティクム(オアサモ)、ルトウイギア・グランディフロラ(オバナミズキンバイ等)、ヴェロニカ・アナクリスアクティカ(オカワシヤ)、の植物11種

(詳細については、下記の環境省ホームページ

URL：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html>を参照)

2. 確認された特定外来生物の防除を行う場合、別紙防除実施計画書に基づいて個体を採取し、処分しなければならない。
3. 特定外来生物の防除完了後、防除記録台帳を作成し、監督員に提出すること。
4. 特定外来生物を含む残土については、極力、現場内にて処分するよう努めること。

第10条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第11条 施工管理

1. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
2. 主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
3. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
4. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等（管理図またはデータの集計表）を作成し、提出すること。（データのみの提出はしないこと）

第12条 写真管理

1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
2. 写真はカラーL版（89×127mm）とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版（127×178mm）またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とし、それぞれ対比して撮影すること。
3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第13条 品質規格

1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。
2. （コンクリート管理）
 - ① コンクリート中の塩化物量の総量規制、アルカリ骨材反応抑制対策については、指示する重要構造物について、コンクリート中の塩化物総量規制及びアルカリ骨材反応抑制対策実施要領に基づき、コンクリ

ート打設前に試験を実施し規格値を満足することを確認のうえ打設すること。(請負必携21 参照)

- ② コンクリートの強度管理については、標準養生で行うこととする。但し、脱型に係る強度確認は現場空中養生にて行うこと。

3. (再生切込碎石)

- ① 本工事に使用する碎石は、再生切込碎石 (0~30、0~40 mm) とする。

なお、生産業者の都合により再生切込碎石の供給に支障がある場合は監督員と協議し、その指示に従うこと。

- ② 下層路盤材・土木構造物の基礎碎石及び裏込碎石に使用する材料は、下記の品質規格を満足するものとし、受注者は施工にあたって事前に使用する再生切込碎石生産者及び最近の試験結果を提出し、監督員の承諾を受けなければならない。

また、アスファルトコンクリート塊を原料とする再生切込碎石を下層路盤材として使用する場合は、別途資材と混合して使用するものとし、アスファルトコンクリート塊の混合割合は重量比 60%以下とする。ただし、別途資材として鉄鋼スラグ路盤材、アッシュストーンを 30%以上混合した場合に限り、アスファルトコンクリート塊の混合割合は上記規定を適用しない。

なお、生産者の都合により再生切込碎石の供給に支障がある場合は、監督員と協議のうえ、新材切込碎石に変更することとし、設計変更の対象とする。

再生切込碎石の品質基準は以下の通りとする。

修正CBR (%)	P I (塑性指数)	すりへり減量	粒 度
30 以上	6 以下	50 %以下	再生切込碎石の粒度範囲に入ること

第14条 一般施工

1. (準備工)

伐開、除根及び段切工等の準備工については、共通仮設費の中に含まれるので、土木工事共通仕様書に則って実施すること。また、除根材については建設廃棄物の対象となるため、監督員と協議の上、適正に処分するものとする。

2. (とりこわし工)

コンクリート構造物及びアスファルト舗装版を取り壊した時は、速やかに取壊し数量及び根拠となる図面を監督員に提出しなければならない。

第15条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。(設計変更に使用できる図面と数量を提出すること。)

第16条 工事標示板等

1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。(看板①)
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第17条 その他施工関係

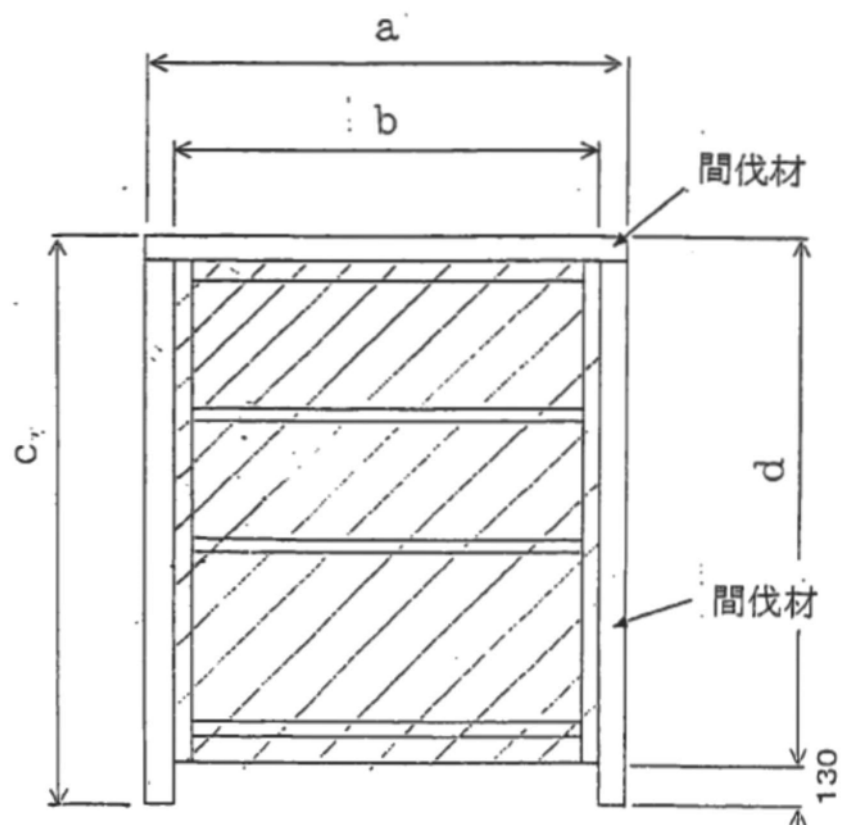
1. 土質の状態により、工法の変更もあり得るので、掘削時に監督員と現地確認を行い協議すること。
2. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているので、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
3. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断面の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
4. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
5. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
6. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
7. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
8. 当該工事によりマンホール等の高さ調整の必要が生じた場合は、起工測量に基づき調整箇所数及び調整高を監

督員へ報告し、監督員及び占用者の了承を得た後、受注者の責任において高さ調整（撤去・設置・資材調達）等を行うこととする。これに要する費用について、基本的には占用者が負担するものとする。

9. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

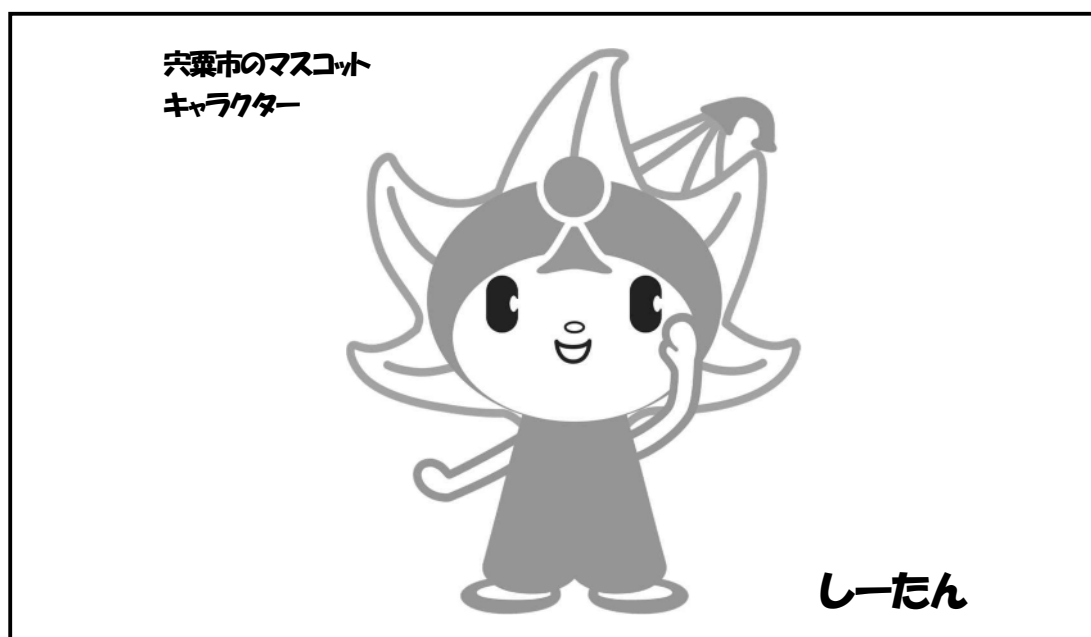
工事看板 参考図

【看板①】



※間伐材（杉・檜・松）

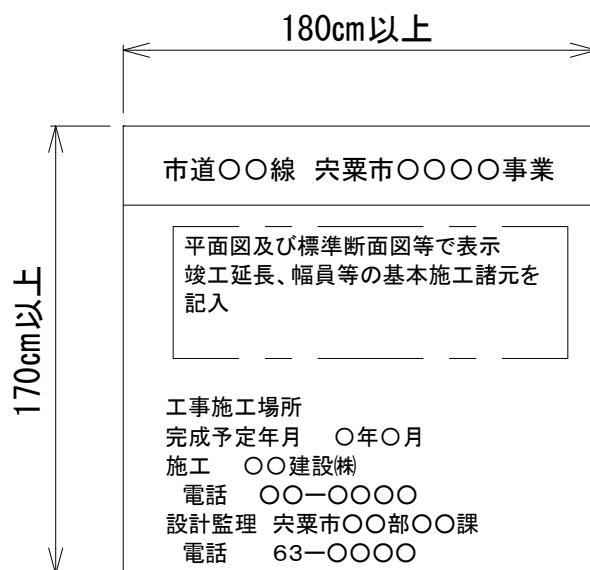
（例）



※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。
 ※下地は、白色とする。

【看板②】

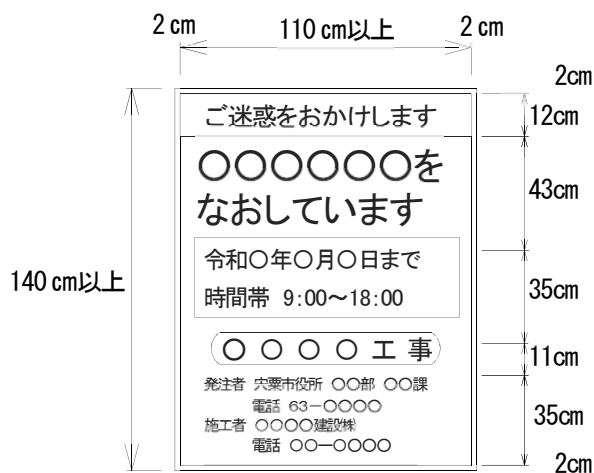
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注)(1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

【看板③】

＜工事標示板を明記する工事看板例＞

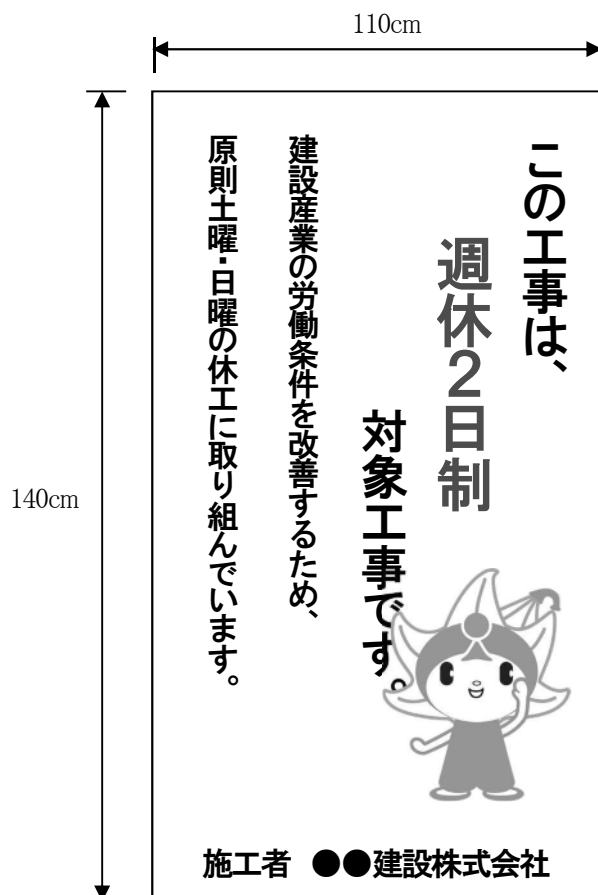


(注)(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、下地を白色とする。

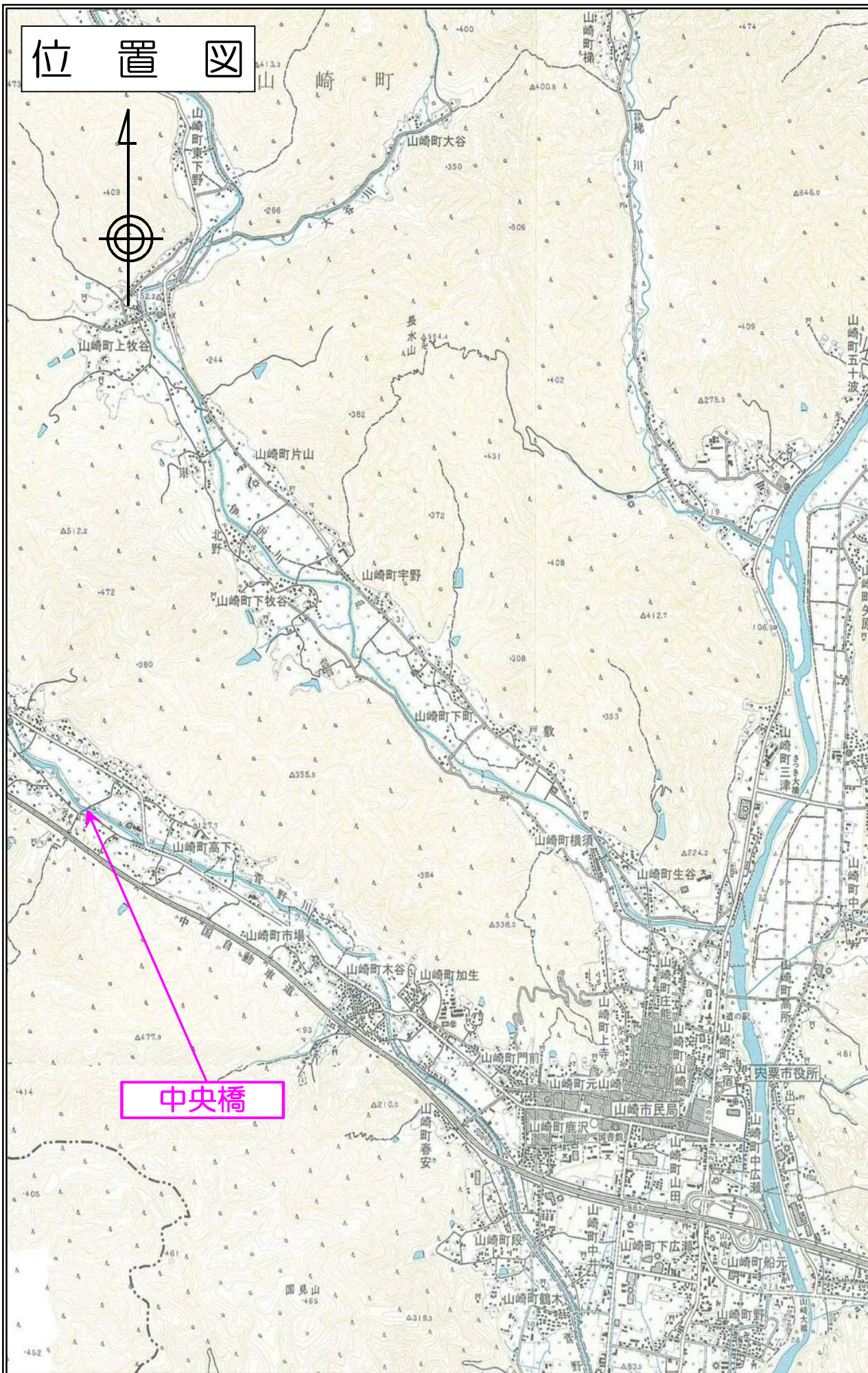
(2) 縁の余白は 2cm、縁線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

【看板④】

＜週休2日制度対象工事であることを明記する工事看板例＞



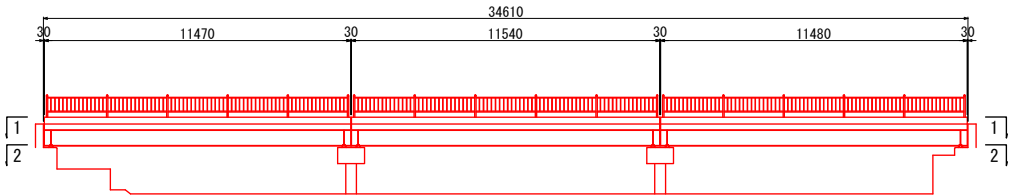
位置図



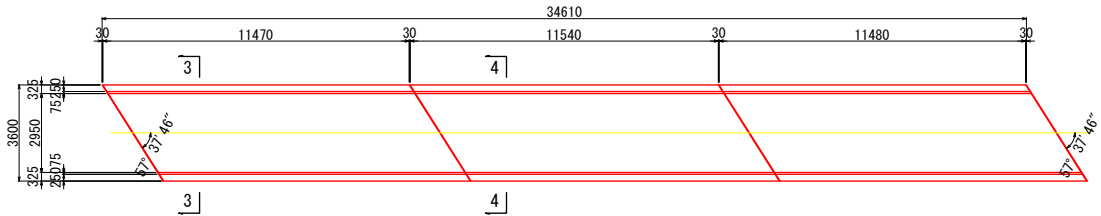
中央橋 一般図

S=1:100

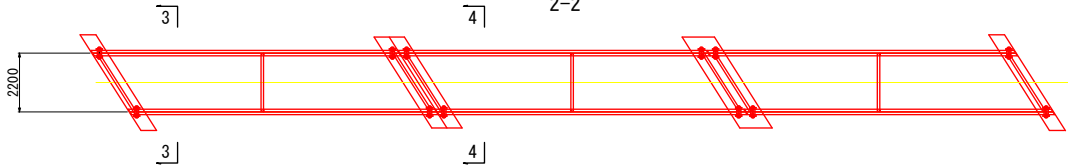
側面図 1/100



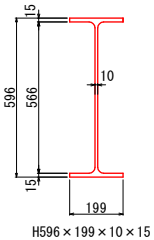
平面図 1/100
1-1



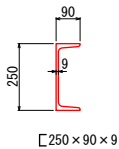
2-2



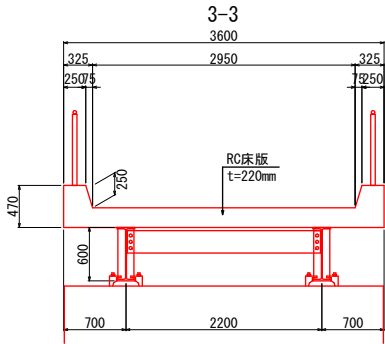
主桁 1/10



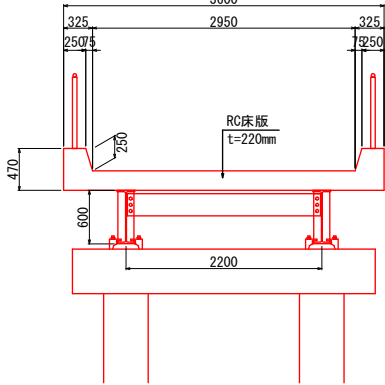
横桁 1/10



断面図 1/30



4-4

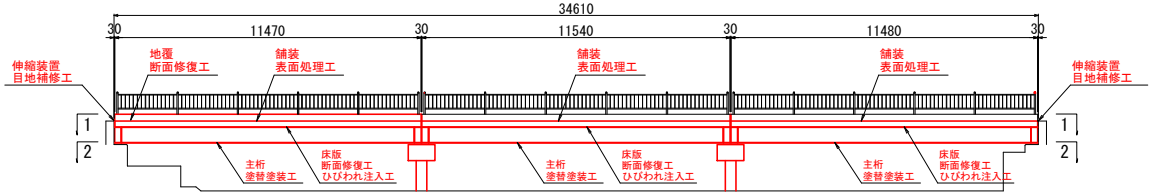


令和 7 年度 市道高下3号線	
中央橋橋梁修繕工事	
矢栗市 山崎町 高下	
一般図	1 表
縮尺 図示	10 全
矢 栗 市	

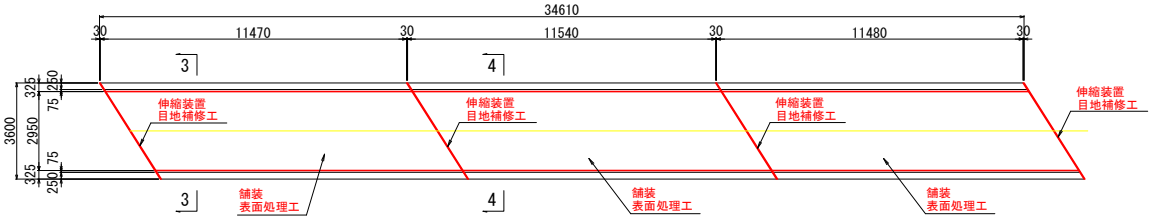
中央橋 補修一般図

S=1:100

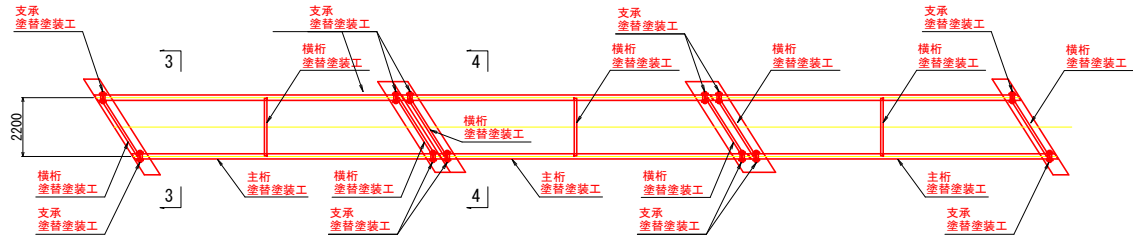
側面図 1/100



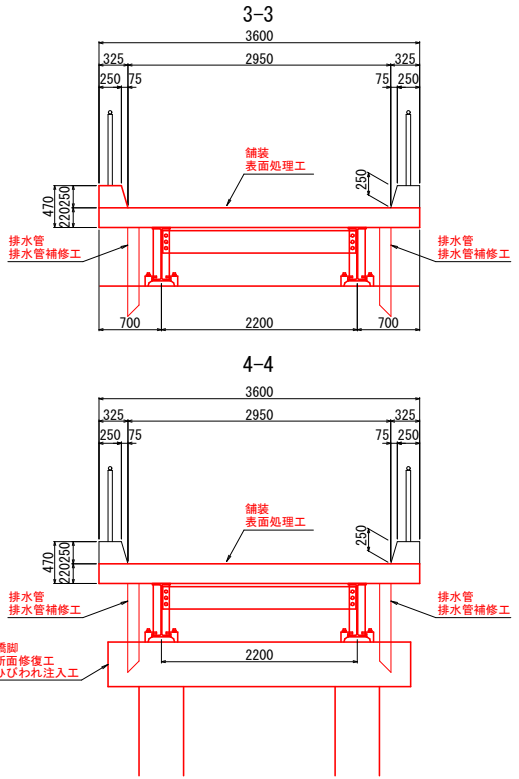
平面図 1/100
1-1



2-2



断面図 1/30



補修箇所一覧表

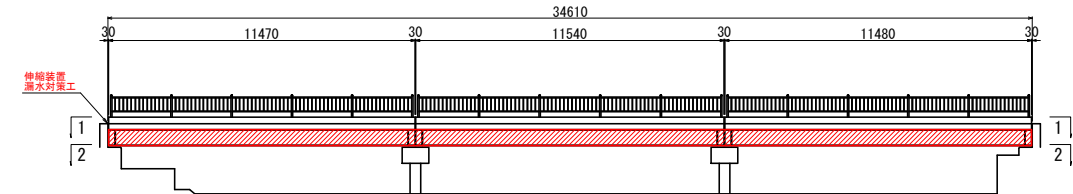
部	材	損傷内容	補修項目
上部工	主桁	腐食	塗替塗装工
	横桁	腐食	塗替塗装工
	床版	床版ひびわれ 剥離・鉄筋露出	ひびわれ補修工 断面修復工
下部工	橋脚	ひびわれ 剥離・鉄筋露出	ひびわれ補修工 断面修復工
支承部	支承	腐食	塗替塗装工
橋面工	舗装	舗装の異常	表面処理工
	伸縮装置	土砂詰まり	目地材補修工
	地覆	剥離・鉄筋露出	断面修復工
その他	排水管	変形・欠損	排水管補修工



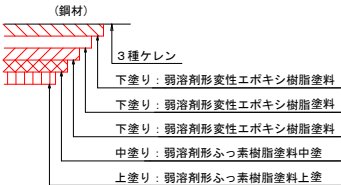
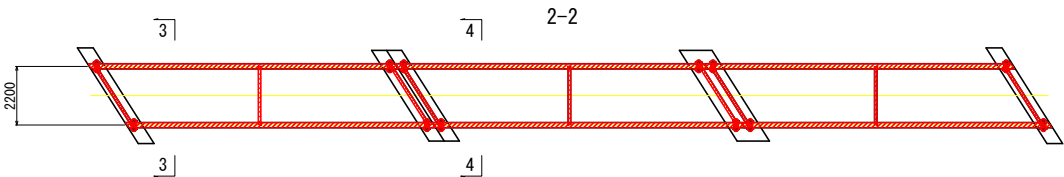
令和 7年度 市道高下3号線	
中央橋橋梁修繕工事	
矢野市 山崎町 高下	
補修一般図	2/10
縮尺 図示	10
矢野市	

中央橋 塗替塗装工

側面図 1/100



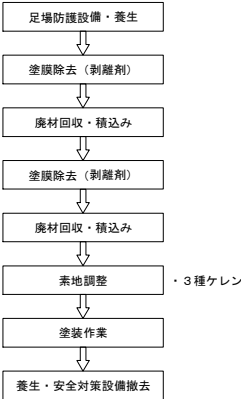
平面図 1/100



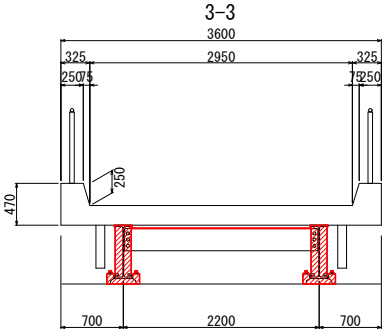
塗装仕様
RC-Ⅲ (はけ・ローラー)

工程	規格	使用量 (g/m ²)	塗装間隔	数量 (m ²)
素地調整	3種ケレン	—	—	141.3
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	4時間以内	141.3
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1～10日	141.3
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1～10日	141.3
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り	140	1～10日	141.3
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1～10日	141.3

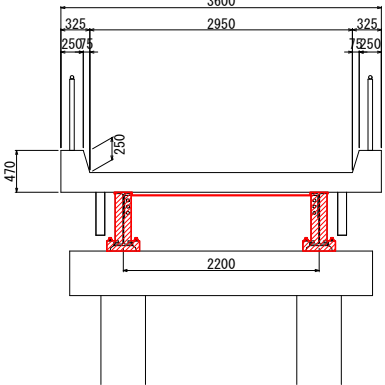
施工手順



断面図 1/30



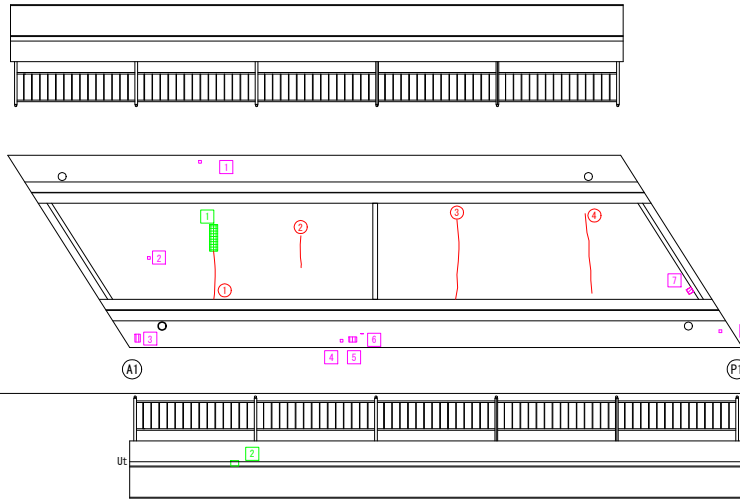
4-4



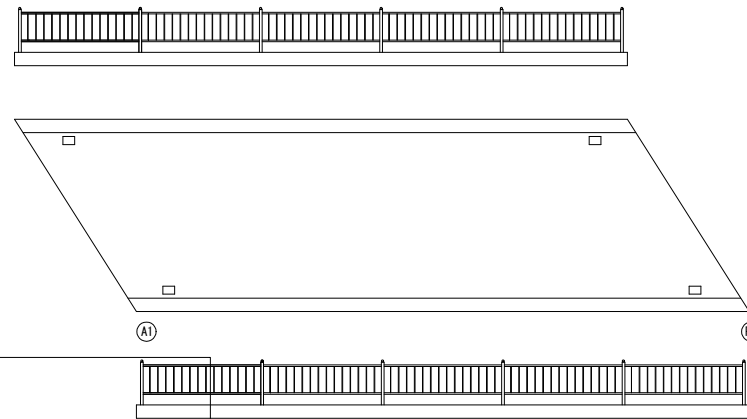
令和 7年度 市道高下3号線 中央橋橋梁修繕工事	
実施市 山崎町 高下	
塗替塗装工	3/10
縮尺 図示	
実 施 市	

中央橋 ひびわれ注入工 断面修復工(1)

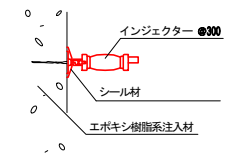
桁下面 S=1/50



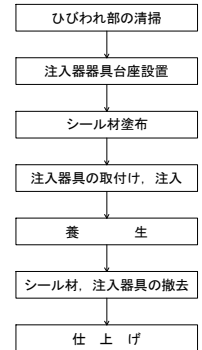
橋面 S=1/50



ひびわれ注入工



施工手順

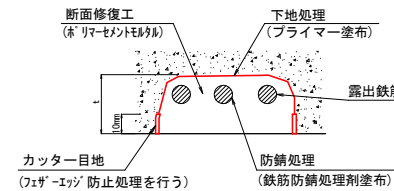


- ※1 注入作業は、シーリング材が確実に養生し硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧かつ低速で注入する。
- ※2 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シーリング材除去後にコンクリート面を平滑に仕上げる。
- ※3 注入材は、DDG 70150 (エポキシ樹脂2種適合品) 相当品とする。
- ※4 シール材はBLシール相当品とする。
- ※5 注入器具はBLインジェクター相当品とする。

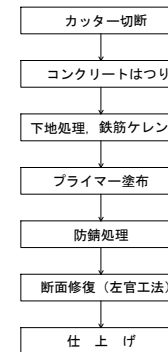
ひびわれ注入工

番号	幅 (mm)	長さ (m)
①	0.20	0.90
②	0.20	0.60
③	0.20	1.50
④	0.20	1.50
合 計		4.50

断面修復工

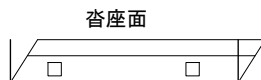


施工手順



- ※1 劣化、不良コンクリートは健全部に損傷を与えないように周囲をコンクリートカッターにより切断目地を入れる。
- ※2 下地処理は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。
- ※3 剥離、欠損、うき部は、脆弱部分をはつり取り鉄筋が現れた場合は、鉄筋の防錆処理後に欠損断面の補修を行う。
- ※4 鉄筋露出部は、ワイヤーブラシ等を用いて鉄筋の表面錆を落とし、鉄筋の防錆処理後に欠損断面の補修を行う。

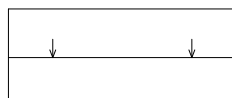
A1橋台 S=1/50



左側面

正面

右側面



断面修復工 (左官工法) (はつり深さ20mmとする)

【剥離・鉄筋露出】ケレン無し			
番号	寸法 (1箇所あたり) (mm)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	150 × 500 × 20	0.0750	0.00150
②	100 × 150 × 20	0.0150	0.00030
合 計		0.0900	0.00180

断面修復工 (左官工法) (はつり深さ50mmとする)

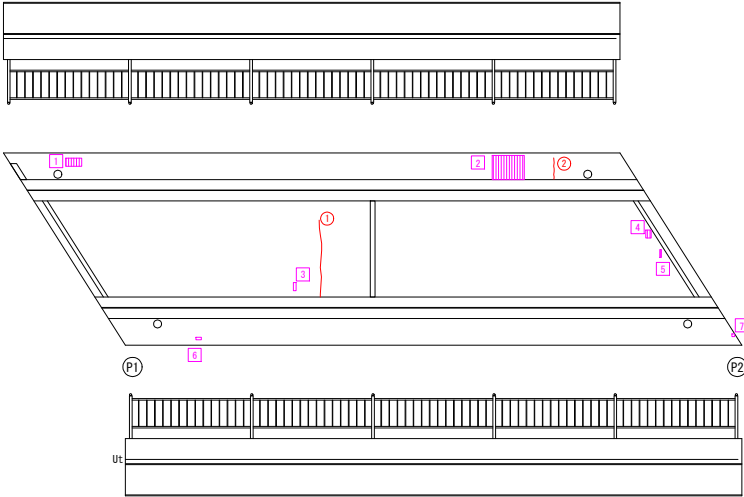
【剥離・鉄筋露出】ケレン有り			
番号	寸法 (1箇所あたり) (mm)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
②	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
③	100 × 150 × 50	0.0150	0.00075
④	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
⑤	150 × 100 × 50	0.0150	0.00075
⑥	50 × 10 × 50	0.0005	0.00003
⑦	100 × 100 × 50	0.0100	0.00050
⑧	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
合 計		0.0505	0.00255



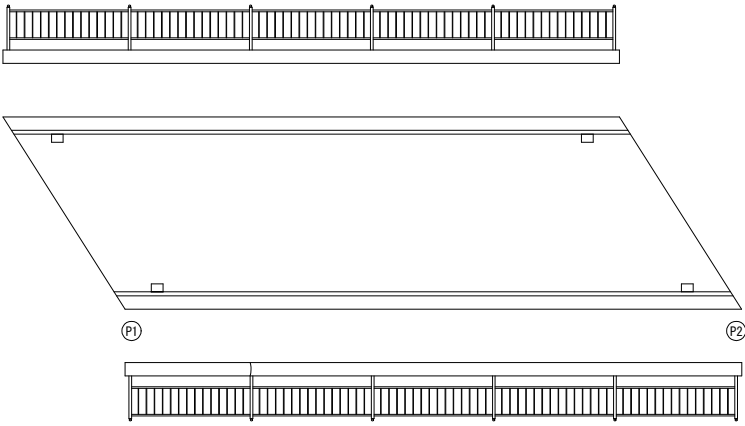
令和7年度 市道高下3号線 中央橋橋梁修繕工事 中央橋橋梁修繕工事 中央橋橋梁修繕工事 ひびわれ注入工 断面修復工(1)	4	業 全
縮尺 図示	10	
中央橋橋梁修繕工事		

中央橋
ひびわれ注入工 断面修復工 (2)

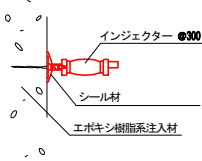
桁下面 S=1/50



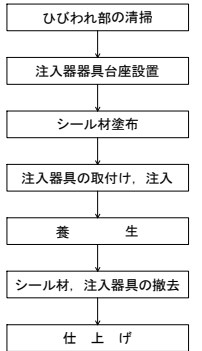
橋面 S=1/50



ひび割れ注入工



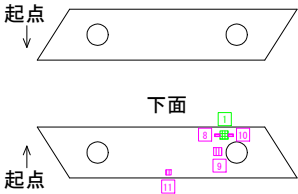
施工手順



- ※1 注入作業は、シーリング材が確実に養生し硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧かつ低速で注入する。
- ※2 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シーリング材除去後にコンクリート面を平滑に仕上げる。
- ※3 注入材は、DDグレート50 (エポキシ樹脂2種適合品) 相当品とする。
- ※4 シール材はBLシーリング材相当品とする。
- ※5 注入器具はBLインジェクター相当品とする。

P1橋脚 S=1/50

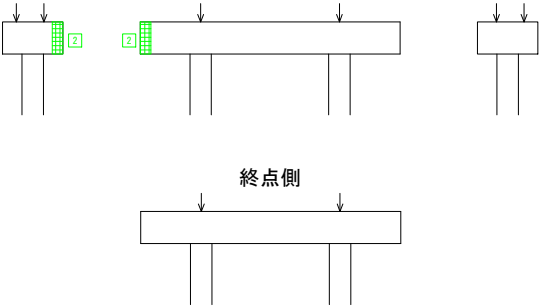
沓座面



下流側

起点側

上流側



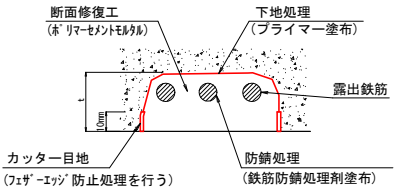
ひびわれ注入工

番号	幅 (mm)	長さ (m)
①	0.20	1.45
②	0.20	0.40
合 計		1.85

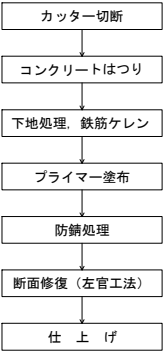
断面修復工 (左官工法) (はつり深さ50mmとする)

【剥離・鉄筋露出】ケレン有り				
番号	寸法 (1箇所あたり) (mm)	面積 (m ²)	体積 (m ³)	
①	300 × 150 × 50	0.0450	0.00225	
②	600 × 450 × 50	0.2700	0.01350	
③	50 × 150 × 50	0.0075	0.00038	
④	150 × 100 × 50	0.0150	0.00075	
⑤	150 × 30 × 50	0.0045	0.00023	
⑥	100 × 50 × 50	0.0050	0.00025	
⑦	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013	
⑧	50 × 100 × 50	0.0050	0.00025	
⑨	150 × 150 × 50	0.0225	0.00113	
⑩	50 × 200 × 50	0.0100	0.00050	
⑪	100 × 100 × 50	0.0100	0.00050	
合 計		0.3970	0.01987	
【剥離・鉄筋露出】【うき】ケレン無し				
番号	寸法 (1箇所あたり) (mm)	面積 (m ²)	体積 (m ³)	
①	150 × 150 × 20	0.0225	0.00045	
②	200 × 600 × 100	0.1200	0.01200	
合 計		0.1425	0.01245	

断面修復工



施工手順



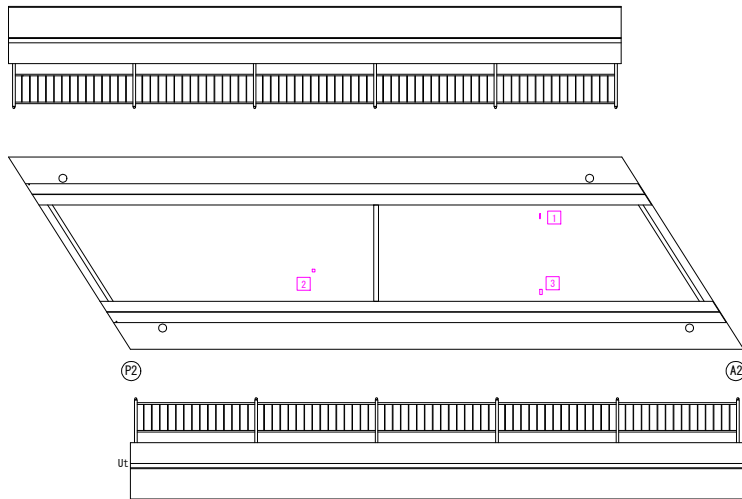
- ※1 劣化、不良コンクリートは健全部に損傷を与えないように周囲をコンクリートカッターにより切断目地を入れる。
- ※2 下地処理は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。
- ※3 剥離、欠損、うき部は、脆弱部分をはつり取り鉄筋が現れた場合は、鉄筋の防錆処理後に欠損断面の補修を行う。
- ※4 鉄筋露出部は、ワイヤーブラシ等を用いて鉄筋の表面錆を落とし、鉄筋の防錆処理後に欠損断面の補修を行う。



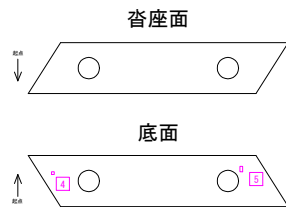
令和 7年度 市道高下3号線 中央橋橋梁修繕工事 実施市 山崎町 高下	
ひびわれ注入工 断面修復工 (2)	5/10
縮尺 図示	
実施市	

中央橋 ひびわれ注入工 断面修復工(3)

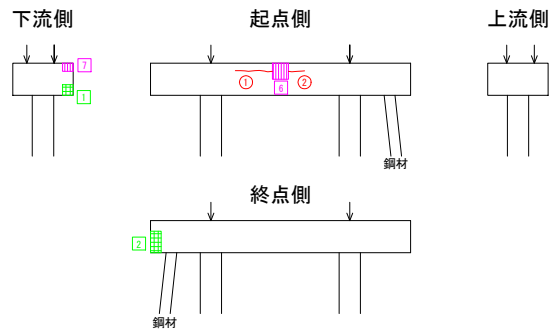
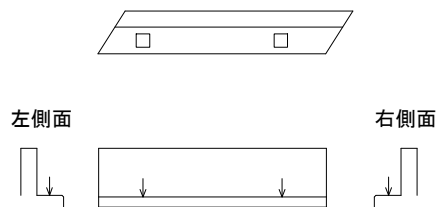
桁下面 S=1/50



P2橋脚 S=1/50



A2橋台 S=1/50



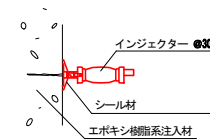
ひびわれ注入工

番号	幅(mm)	長さ(m)
①	0.50	0.70
②	0.20	0.30
合 計		1.00

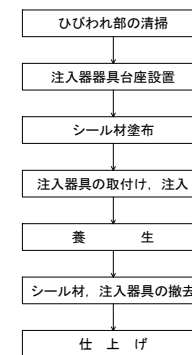
断面修復工(左官工法) (はつり深さ50mmとする)

番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
①	10 × 100 × 50	0.0010	0.00005
②	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
③	50 × 100 × 50	0.0050	0.00025
④	50 × 50 × 50	0.0025	0.00013
⑤	100 × 50 × 50	0.0050	0.00025
⑥	300 × 300 × 50	0.0900	0.00450
⑦	200 × 150 × 50	0.0300	0.00150
合 計		0.1360	0.00681

ひび割れ注入工

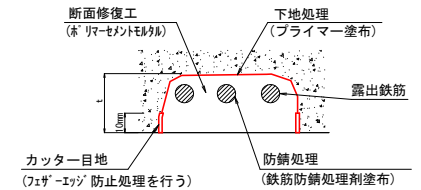


施工手順

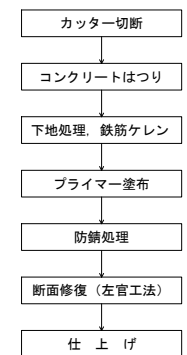


- ※1 注入作業は、シーリング材が確実に養生し硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧かつ低速度で注入する。
- ※2 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シーリング材除去後にコンクリート面を平滑に仕上げる。
- ※3 注入材は、DDゲラッド50(エポキシ樹脂2種適合品)相当品とする。
- ※4 シーリング材はBLシーリング相当品とする。
- ※5 注入器具はBLインジェクター相当品とする。

断面修復工



施工手順



- ※1 劣化、不良コンクリートは健全部に損傷を与えないように周囲をコンクリートカッターにより切断目地を入れる。
- ※2 下地処理は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。
- ※3 剥離、欠損、うき部は、脆弱部分をはつり取り鉄筋が現れた場合は、鉄筋の防錆処理後に欠損断面の補修を行う。
- ※4 鉄筋露出部は、ワイヤーブラシ等を用いて鉄筋の表面錆を落とし、鉄筋の防錆処理後に欠損断面の補修を行う。

断面修復工(左官工法)

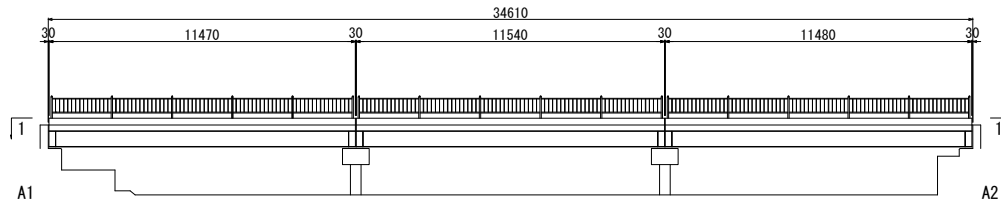
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
①	200 × 200 × 100	0.0400	0.00400
②	400 × 200 × 150	0.0800	0.01200
合 計		0.1200	0.01600



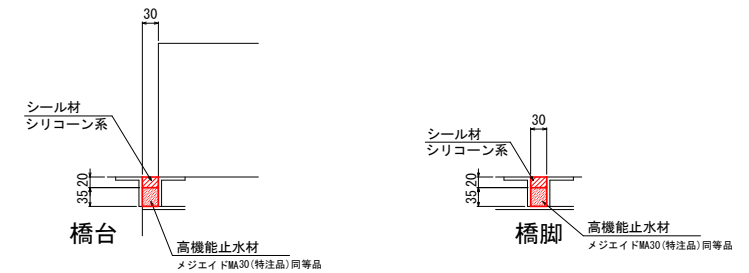
令和7年度 市道高下3号線 中央橋梁修繕工事	
実施市 山崎町 高下	
ひびわれ注入工 断面修復工(3)	第6図
縮尺 図示	10
実 施 市	

目地材補修工

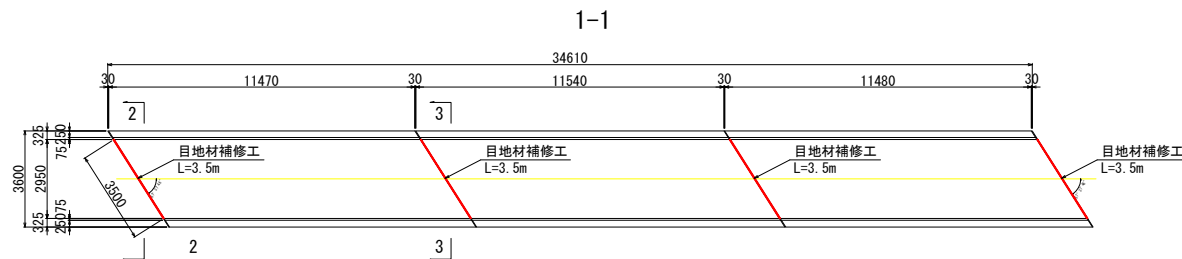
側面図 1/100



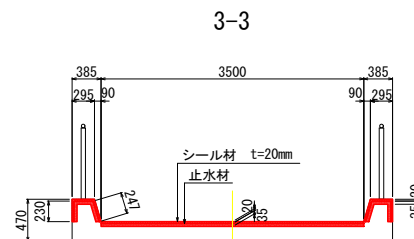
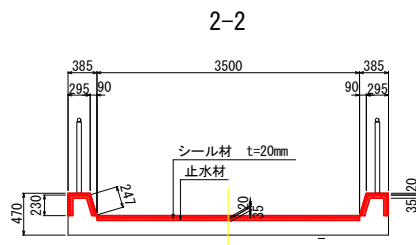
目地補修工詳細図 1/5



平面図 1/100



断面図 1/30



数量表

工 種	名 称	仕 様	単位	数量	備 考
目地補修工	シール材	シリコン系 t=20mm	m	20.2	
	高機能止水材	メジエイトMA30 (特注品) 相当品	m	20.2	

注記

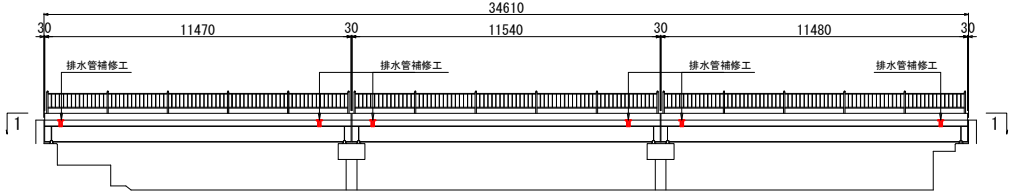
- 1) 本図面は既設資料 及び 現地測量を基に作成している。
2) 現場実測を行い、寸法を再確認のうえ施工を行うこと。



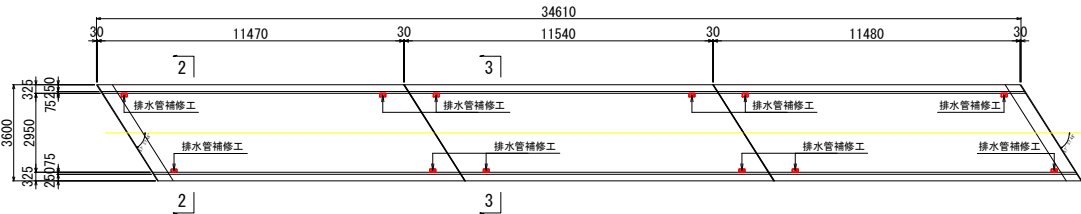
令和 7年度 市道高下3号線	
中央橋橋梁修繕工事	
尖栗市 山崎町 高下	
目地材補修工	7/10 葉全
縮尺 図示	
尖 栗 市	

中央橋
排水管補修工

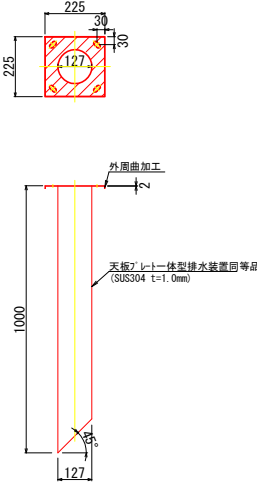
側面図 1/100



平面図 1/100
1-1

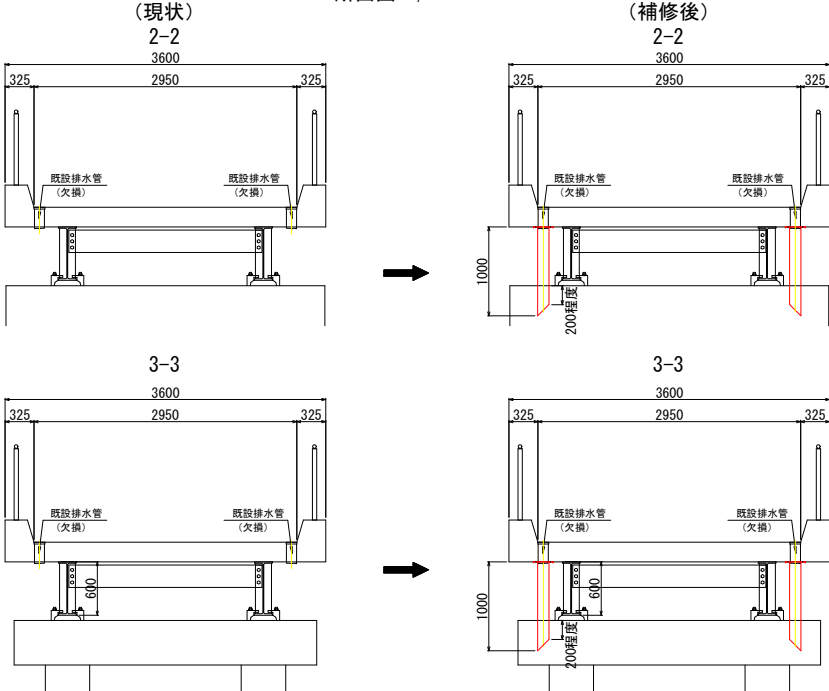


側面図 1/10



注) 製作にあたっては、現地寸法を確認の上、行うこと。

断面図 1/30



数量表

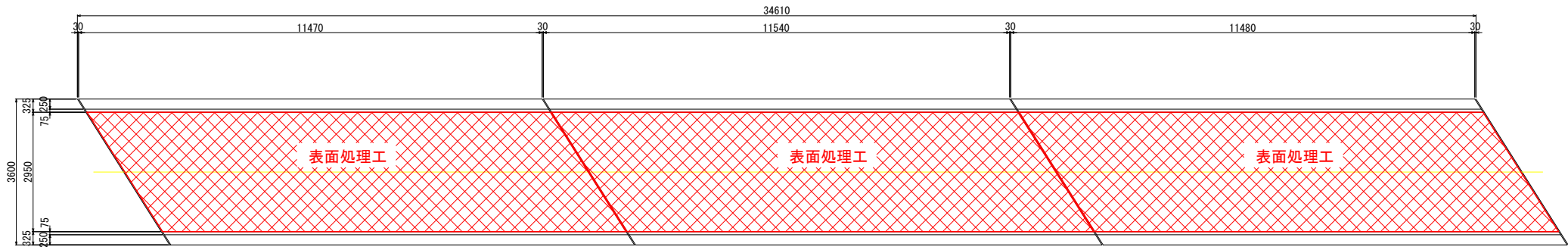
工 種	名 称	仕 様	単 位	数 量	備 考
排水管補修工	天板アレータイプ排水装置相当品	L=1.0m	箇所	12	



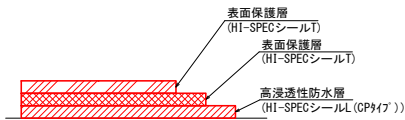
令和 7年度 市道高下3号線 中央橋橋梁修繕工事	
作業市 山崎町 高下	
排水管補修工	8
縮尺 図示	10
穴 栗 市	

中央橋
表面処理工

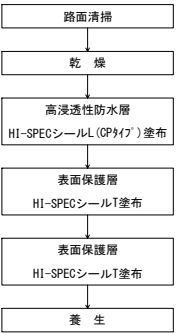
平面図 1/50



表面処理構成図



施工手順



注) 起工測量を行い形状寸法の確認を行うこと。

数量表

工 種	名 称	仕 様	単位	数量	備 考
表面処理工	表面保護層	HI-SPECシールT 相当品	m ²	101.7	
	高浸透性防水層	HI-SPECシールL (CP47) 相当品	m ²	101.7	

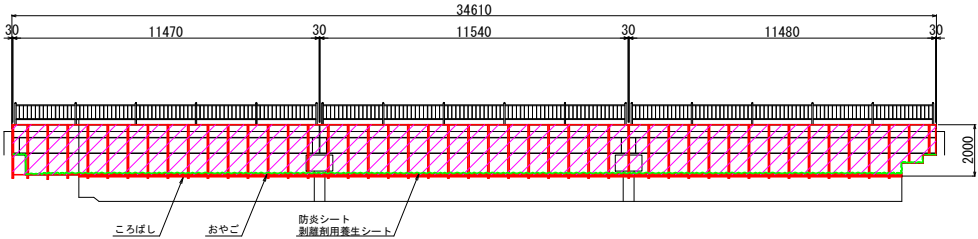
(注) 施工するにあたっては、厚塗り補修層の必要有無をメーカーに相談すること。



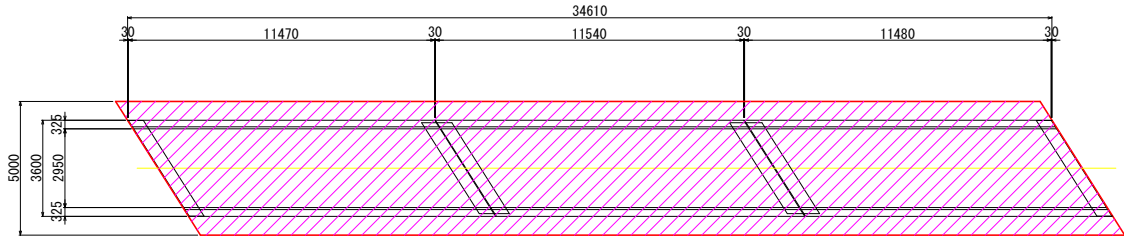
令和 7年度 市道高下3号線		
中央橋橋梁修繕工事		
穴栗市 山崎町 高下		
表面処理工		9 10
縮尺 図示		
穴 栗 市		

中央橋 仮設工（参考図）

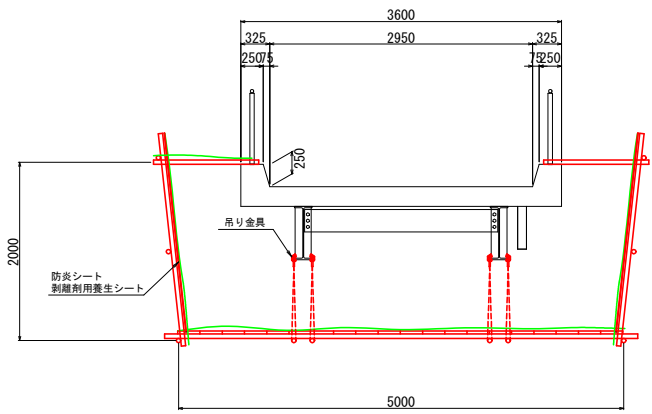
側面図 1/100



平面図 1/100



断面図 1/30



注) 塗装塗替工時は有害物質が足場外に流出することを防ぐため、シート張り防護を行うこと。



令和 7年度 市道高下3号線		
中央橋橋梁修繕工事		
穴栗市 山崎町 高下		
仮設工（参考図）	10	全
縮尺 図示	10	
穴 栗 市		